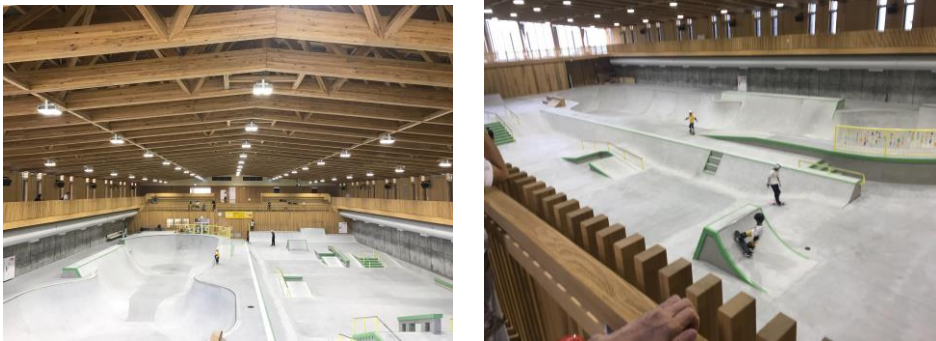


会 派 視 察 報 告 書

調査・研究テーマ	村上市スケートパーク
目 的	さいたま市のスポーツ振興のため
内 容	<p>日 時：2019年8月20日（火）10時～11時30分 視察先：村上市スケートパーク 参加者：阪本 克己、添野 ふみ子、高柳 俊哉、土井 裕之、 傳田 ひろみ、三神 尊志、小川 寿士、浜口 健司、 富田かおり、佐伯加寿美、出雲 圭子、松本 翔 説明者：村上市教育委員会 生涯学習課課長 板垣 敏幸 氏 報告書作成者：浜口 健司</p>
	<p>【村上市スポーツパーク】</p> <p>①コンセプト 「むらかみ」をスケートボードの聖地に ～市民の笑顔と自信が広がるまちに向かって～</p> <p>②建設の拝啓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本スケートパークの老朽化 ・スケートボードが東京 2020 オリンピックの正式競技に ・オリンピック選手 平野歩さんの地元 <p>③運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケートボードの聖地を目指し、大会開催地・合宿地としての定着化とジュニア選手及びトップアスリートの育成、発掘の推進 ・スケートボード競技における国内拠点施設の認定を市内体育施設等と連携を目指す ・公共施設として市のスポーツ振興と市民の健康づくり、市民が親しめる私設として環境を整備する <p>④目指す将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケートボードの聖地化 ・交流人口の拡大 ・若者の定住促進



<p style="text-align: center;">概 要</p>	<p>⑤今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化事業 ・SNS による情報発信 ・企業へのアプローチ ・他自治体との連携 <p>【施設概要】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 17,300 平方メートル ・構造 木造一部鉄筋コンクリート造 ・駐車場 約 130 台 ・観客席 290 席 ・施設内容 1 階：アリーナ 2 階：スラックライン、トレーニングマシン、ランニングコース ・会館時間 午前 9 時～午後 9 時 ・休館日 年末年始
<p style="text-align: center;">所 見 ・ 成 果</p>	<p>今回、村上市スケートパークにお邪魔をして一番感じたことは、地元の「ブランディング」というものを、行政の方が真剣に考えているということだ。全国的に見て人口減少社会局面に入ってきている中で、都市間競争を勝ち抜いていくためには交流人口を増やしていくために地方自治体も積極的に動いていかななくてはならない。村上市では冬季オリンピックのスキーで銀メダルを獲得した平野歩選手のふるさとということもあり、夏のオリンピックに向けてスケートパークを整備したという背景もあると思う。</p> <p>総費用は約 15 億円、年間の維持管理料は 3000 万円。という費用をかけて整備をしたとのことだ。</p>

	<p>さいたま市もスポーツのまちを標榜している以上、スケートパークを整備する必要性もあると考えている。</p> <p>今回のスケートパークの資料をさいたま市の執行部にお渡しをし、スポーツシュールの一環として、さいたま市にもぜひ「スケートパーク」を検討していく必要があると考える。市民のみなさまからの要望も非常に多く、またさいたま市へのブランディングへの貢献になると思われる。</p>
基本政策	14. 誰もが健康で心豊かに文化・スポーツにふれあえるまち